

「第6回川内川水系流域治水協議会」議事概要

合同開催：第9回川内川大規模氾濫減災協議会

第8回えびの大規模氾濫等減災協議会

令和3年3月に策定した「川内川水系流域治水プロジェクト」の推進に向けて「第6回川内川水系流域治水協議会」を開催しました。

今回の協議会では、令和3年7月出水にて川内川流域における内水被害が顕著だったことから令和4年3月に協議会の下部組織として設置された「川内川水系の総合的な内水対策を考える連絡会」において実施した内水実態整理や考えうる内水対策の概略検討内容について報告しました。また、令和4年度に作成した流域治水プロジェクトの取組状況の見える化を目的とした「行動計画」を更新し、フォローアップとして関係機関の取組状況の報告を行いました。さらに、流域市町の首長をはじめ関係機関で、各市町における流域治水のポイントや取組にあたっての課題について意見交換を行いました。

開催概要

- 日時：令和5年3月23日（木）14:00～15:30
- 場所：大口ふれあいセンター多目的ホール 3F（web併用会議）
- 参加者：（※参照：協議会資料－議事次第）

議事内容

- ・「川内川水系の総合的な内水対策を考える連絡会」にて検討した各市町の代表内水箇所の内水実態整理および考えうる内水対策の概略検討内容について報告を行った。（※参照：協議会資料－1）
- ・川内川水系流域治水プロジェクト及び行動計画について更新を行い、承認された。（※参照：協議会資料－2、3-1）
- ・流域治水プロジェクトの更新内容の確認を行った。（※参照：協議会資料－3-2）
- ・各市町における流域治水のポイントや取組にあたっての課題について意見交換を行った。（※参照：協議会資料－4）

主な意見等

【薩摩川内市】

- ・地盤が低い農地等の宅地開発傾向が見られるため、流域治水の観点からこれからは大きな議論になっていくと考える。
- ・引き続き、特定都市河川の指定を視野に入れた議論を進めていきたい。

【さつま町】

- ・平成18年7月の豪雨災害を例に浸水、土砂災害等の学習、災害歴史の継承等を目的に、小中学校を対象にした防災教室等を実施している。
- ・浸水センサーを今後設置する予定であり、迅速に浸水の情報を地域住民にお知らせし、安全対策に繋げていきたい。

【伊佐市】

- ・広い田んぼを田んぼダムにすることで、浸水した地域の軽減が図られるのではないかと考えて、今後検討していきたい。

【湧水町】

- ・近年、ゲリラ豪雨等によって河川水位の上昇が急激になったということで避難時間の確保が課題と考える。
- ・今年度、災害発生時の避難所、個室空間としての活用出来るレスキューホテルの活用に関する災害協定を締結した。

【えびの市】

- ・屋外スピーカーを使用した防災無線では、暴風・豪雨・台風の時は聞こえないことが課題であり、今後の対応方針を検討中。



薩摩川内市長



さつま町長



伊佐市長



湧水町 副町長



えびの市 副市長



【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 川内川河川事務所 調査課

〒895-0075 鹿児島県薩摩川内市東大小路町20番2号

TEL 0996-22-3271